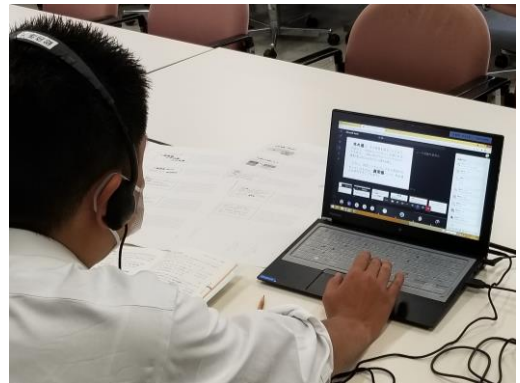


## 校長室より(11)

### オンライン教育

9月21、22、24日の3日間、都立高校は全学年が登校せず、オンラインを活用した教育活動を実施しています。本校では、オンラインHRで出欠確認後、それぞれの学年が仮の時間割を作成し、先生方は同時双方向型や動画掲載型など、いくつかの方法でオンライン教育を実施しています。その際、ヒューレッドパッカー社から貸与いただいているPC40台を、環境が整っていない生徒には貸出も行っています。

コロナ禍でオンライン教育は急速に進んでいます。しかし、やはり対面の授業の方が良いと感想を述べる生徒が多いことも事実です。不便な部分や学習環境が整わない部分もあると思いますが、コロナ収束まで一定期間が必要なことは容易に予想できません。生徒の皆さんには新しい学習スタイルを身に付けて、学びを止めないようにしてほしいと願っています。



### 卒業生紹介

9月21日(火)、今年3月に本校を卒業し、現在、帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程で学ぶ山内みことさんと、岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程で学ぶ田中ひなたさんが校長室を訪れてくれました。二人とも学校推薦型で国立大学に合格した生徒です。さらに、二人ともフィールドワークに参加し、特にマレーシア・ボルネオ島での経験が入試の面接で活かした人たちです。今回は、現在の大学での活動や長期休業期間中に経験したインターンシップについて記載します。

山内さんは、大学では馬術部に入部し、長期休業中の部活動の休みは5日だけのハードな生活を送っているそうです。初心者で始めた乗馬は、今ではうまく乗りこなすことができ、来年からは大会にも出場するそうです。馬13頭とともに神社へ初詣に行くため、お正月は帰省できないと話していました。

田中さんは、長期休業中に4日間のインターンシップに参加したそうです。そのインターンシップ先は気象庁と環境省。大学のチラシを見て自ら応募したそうです。内容は女性職員のキャリア形成を目的としたもので、今回は霞が関ではなく、コロナ禍のためオンラインだったそうですが、その利点を生かし、省内ツアーで小笠原事務所とつながったり、副大臣室を見せていただいたりと得難い経験が出来たと語っていました。卒業生が自分の道を果敢に切り開いている様子を聞いて、頼もしく感じました。

科学技術高校は女子生徒がまだ少ない状況ですが増やしていきたいと思っています。理系には男子が多いイメージですが、男女関係なく活躍できる社会を目指し応援したいと思います。

校長 久保 剛

